

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		そら空		公表日		
				2025年 6月 7日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	小学生が集中を必要とするプログラム時は、2階を使用し、児童発達は1階ブレイルームで活動を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	基準以上の配置を心がけています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	バリアフリー化まではなっていません。時間と一日の流れが分かる様に掲示しています。	1Fトイレ前の出入口の段差でつまずくお子さんがいるかもしれない為声掛け促しを行い怪我の無い様に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	シャワールームを設置して気持ちよく過ごしてもらえるようにしています。玩具、ドア等は光触媒を塗布しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	2階にクールダウンや休養できるスペースがあります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2		ミーティング等で業務改善について話しているが振り返りが不十分な点があり改善・共有を行いよりよい支援が出来るように努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		ミーティング時に共有、改善できるように努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	月に1、2回ミーティングを行っています。その都度意見を言う職員もあり、改善出来るよう話し合っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		現時点では、第三者委員会などの外部機関とつながっていないです。今後、機会があればつながって対応したいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	定期的に内部研修は行っています。	外部研修も日程を調整して受講していきたいと思っています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	ホームページで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	保護者と面談した時の言葉をピックアップし、計画・作成に取り入れています。	今後もアセスメント、モニタリング等もニーズや課題を客観的に分析を行い計画に反映していく事に努めます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	現場で支援に関わる職員と児発管とで、計画作成時に話し合い、共通理解を図り作成しています。	今後も検討することに努めます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		今後も職員がしっかりと理解し計画の共有、計画に沿った支援、療育が出来るように努めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		今後もツールを用いて確認出来るように努めます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2		今後も勉強しながら多角的な視点で作成できるように努めます。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	6	プログラムを立案し、より良い方向へ導くための話し合いは行っています。	・1人ひとりが立案しあうと、視点も変わり更により良いプログラムになると思っています。 ・児発管から全員で考えるよう指示があるが、一人の職員が毎月先に考えてしまっているため、他の職員が意見を言いにくい状況になっていると感じています。 ・個々にこんなプログラムが出来たらいいねと話してはいますが、立案できるように努めたと思います。 今後、チームで立案出来るように努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	3		・一人の案だと固定化してしまうため、全員で内容を考え、ステップアップできるプログラムを考える必要があると思います。 ・固定化している様にしか感じない為に検討が必要だと思います。 ・曜日によってプログラムが決まっているが、内容を検討し固定化しないように努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	2	主に集団活動になっているが、個別の活動も行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	3		連携が不十分な点もあり、共有するように努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4		・気付きノートを作成しているが、支援終了後に打ち合わせを行っていない。課題や今後についての打ち合わせが必要だと思います。 ・個々ではしているが、全体では出来ていないと感じています。 振り返りを行い全体での共有に努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	3		記録は行っているが、検証・改善には繋がっていないと事が多いと感じています。 支援の検証・改善に努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2	面談を行っています。	今後も勉強しながら多角的な視点で作成できるように努めます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2	常に心がけています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3	年度初めに連携できるように教育機関と電話にてご挨拶等行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	5		園の様子は日々共有しています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3		難しい時も有りますが連携するように努めます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		7		必要に応じて連携が取れるように検討していきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	他事業所と（近くの）と交流しています。（交通安全・夏祭り）	地域の幼稚園や保育所、こども園との交流の実現が難しです。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	2	面談時や日頃気付いた折には、親御様とは共通理解できるように心がけています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		家族支援プログラムは検討したいと思います。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2	契約時に説明を行っています。	今後も丁寧な説明を心がけます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	2	ご家族との面談時にモニタリングを行い、ご家族の意見を伺い、利用児童のねがいを推測ではあるものの考えて実現できるように個別支援計画を作成するように心がけています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	2	支援内容の説明を行い同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	・定期的に面談を行い、臨時でも気になることがあれば面談を行い、できるだけ保護者と話ができるよう心がけています。 ・手紙、連絡帳、口頭、面談、電話などで行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	親睦会を行っています。親御様ご兄弟、祖母様もご参加頂き、皆で調理をしたり、ゲームをしたり親の会を行いお子様の様子や困り事などお話ししながら行っています。	アンケートでの貴重なご意見もありましたので、検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	迅速に対応できるように心がけています。	今後も安心して頂けるように、迅速丁寧に対応していきたいと思います。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	SNS等で発信しております。	今後も活動を発信してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			今後も十分に注意してまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1	事務連絡や案内などではできるだけ口頭だけではなく書面でも通知するようにし、周知、理解しやすいよう行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	現時点では、地域住民との交流はできていません。 時折、犬の散歩に立ち寄って頂く方がいます。工作の材料を提供して頂いています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			マニュアルの周知が不十分な点もあり周知するように努めます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的に訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	契約時にお子様の状況に確認を心がけています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	食物アレルギーの確認は契約時に聞き取りを行うようにしています。配慮が必要な場合は職員間で周知徹底をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2		職員間で話し合いながらこれからも必要な訓練を考え、実施していきたいと思います。その際の振り返り、反省もしっかりと行いつてまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		周知を行っていなかった為行なってまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	ヒヤリハットは共有を行っています。	今後も再発防止について検討を行ってまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	2	外部研修にも参加しています。	外部研修に参加する機会を増やしていきたいと思います。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	4	外部研修にも参加しています。	放課後等デイサービス計画に身体拘束することが予想される場合、計画書に記載について検討してまいります。